

平成27年 第10回別海町教育委員会 会議録

- 1 開催日時 平成27年10月2日(水) 午前10時00分から午前10時40分
- 2 開催場所 別海町役場 町議会第2委員会室
- 3 出席委員 (3名)

教育委員長	大塚保男
教育委員長職務代理者	木村江里
教育長	真籠毅
- 4 欠席委員 (2名)

教育委員	伊勢浩子
教育委員	上田茂
- 5 出席職員 (10名)

教育部長	中谷隆弘
指導主幹	谷口秀文
指導参事	古森康晴
教育部次長	下地哲
学務課長	佐々木栄典
学務課主幹	福原義人
学務課主幹	松田勝広
学務課主査	小野勝彦
西公民館副館長	新堀光行
図書館長	千葉宏
- 6 議事日程 協議案第1号 平成27年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について

－【開 会】－

大塚委員長

ただ今から、平成２７年第１０回の別海町教育委員会会議を開会いたします。

本日の出席委員は、３名です。別海町教育委員会会議規則第５条の定足数に達していますので、会議は成立いたします。

それでは開会にあたりまして、私から一言ご挨拶を申し上げます。

今日は、低気圧の影響で本町でも明け方から非常に強い風が吹いております。予報では、明日にかけて暴風雨が続くようですが、４日のパイロットマラソンの準備や、当日の開催に影響がなく、無事に終了出来ることを願っております。

さて、今年も早１０月に入りました。

山は、紅葉が進み、高い山並みでは初冠雪の便りが聞かれるなど、ストーブが恋しい季節になりました。

学校では、２学期の真っ只中にあり、本年度の重点目標達成に向けた教育活動の実践や子ども達の学芸会、文化祭へかける主体的な取り組みなど、活発で充実した学校生活を過ごされているものと思います。長い２学期ではありますが、各学校には、実り多い学期になるよう期待したいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

－【前回会議録の承認】－

大塚委員長

それでは日程第２、会議録の承認に入ります。

前回、第９回の会議録について、事前に各委員さんに事務局から送付しておりますので、訂正・ご意見等がありましたら発言をお願いいたします。

いかがでしょうか。

（「なし」声あり）

大塚委員長

無いということですので、第９回の会議録については承認することとしてよろしいですか。

（「はい」の声あり）

大塚委員長

会議録について、承認することといたします。

－【報 告】－

大塚委員長

それでは、日程第３、報告に入ります。

真籠教育長から報告事項をお願いいたします。

真籠教育長

９月２日に開催されました、第９回の教育委員会会議以降から本日までの行事や実施事業等について報告します。

まず、９月２日午後１２時３０分から、別海中央小学校において「給食一品まごはやさしいレシピコンテスト」で入賞した作品を給食メニューに取り入れ、その試食会が開催され、教育長、教委職員が参加しております。

真籠教育長

同日午後３時から、平成２６年度別海町各会計決算に係る意見書が町監査委員から町に提出されました。教育長・教育部長が出席しております。

翌３日には、中西別幼稚園で公開研究会が開催され根室管内の幼稚園教諭が集まり幼児教育向上への研修を深めております。教育長、古森参事が出席しております。

同日午後４時から、別海町商工青年部よりフリーマーケット開催の益金を学校図書の購入にと寄附がありました。読書活動推進にむけた学校図書の充実に活用したいと思います。

翌４日午前１０時から、議会全員協議会が開催され、９月補正予算等の概要説明等が行われております。

同日午後１時３０分より、定例校長会が開催され、教委より別海型コミュニティスクール導入の構想案が示されております。今後、校長会において構想案の検討協議がなされ、その後、実施に向けた構想案を教育委員会議で審議していただくことになります。

６日には、第５５回記念根室管内スポーツ交歓大会が別海町で開催され、教育委員長・教育長が出席しております。

８日から１１日の４日間で、第３回議会定例会が開催されております。教育関係の一般質問では、外山議員より、一つ目として別海高校への補助拡大について、二つ目として別海高校の寄宿舍（寮）について質問がありました。

町教委としては、別海高校に進学しやすい環境づくりを整えるために、検討を進めていくと回答しております。

また、木嶋議員からは、義務教育段階の特別支援学校の分校・分教室を根室管内に設置を進める必要があるのではという質問があり、根室管内市町と連携しながら誘致に努力すると答弁しております。

中村議員からは、公職選挙法の改正により１８歳以上の高校生も有権者となることから、高校生への選挙に関する教育、政治に興味を持たせる教育をどう進めるのか、小中学生における年齢や段階に応じた選挙や政治に関する教育はどう進めるのか、生涯教育の面からの取り組みはどのように行われているのかといった質問がありました。教委としては、有権者となる若者に対する選挙の啓発活動は重要であり選挙管理委員会と連携・協力を図りながら、選挙に関する体験型学習などに取り組んでいくこと、小中学生の義務教育課程では、選挙及び政治に関する教育は、学習指導要領に添って段階に応じて進めていくこと、生涯教育では、新有権者に選挙権を有したことの意義を伝えるために、選挙の啓発冊子の配布や意識啓発に努め、選挙を身近に感ずることができる取り組みを講じると回答しております。

１４日には、上西春別小学校において学校力向上アドバイザーの水上氏を

迎え、公開授業へのアドバイスや道德教育に関する講演会を開催しております。

翌15日には、中春別野球少年団が全道大会出場への報告、別海高校酪農専攻科生徒3名がニュージーランド研修（2ヶ月間）出発への挨拶、別海高校ソフトテニス部1年生が国体全国大会出場することへの報告が町長・教育長にありました。

同日午後1時30分から、定例の教頭会議が開催され、学校力向上総合実践校である別海中央小学校の取組事例発表を題材に情報交流会が実施されております

翌16日には、別海中央小学校で2回目の「給食一品まごはやさしいレシピコンテスト」入賞作品の給食試食会が開催されました。今回はエノキタケのカルボナーラ風という作品で、大変おいしい一品でした。子どもたちの発想力は豊かで、このコンテストを通じて、今後も食の大切さを知ってもらうためにも継続して参りたいと考えております。

23日になりますが、第51回別海町駅伝競走大会・第19回別海町女子駅伝大会が晴天のもと開催され、男子16チーム女子8チームの計24チームが出場し、今回から新たにふるさとの森の巡回コースにて行われています。

翌24日には、別海小学校で自主公開研究会が開催され、教育大釧路校の早瀬准教授を講師に招き、熱心な研修が行われました。教育長・谷口指導主幹が出席しております。

翌25日には、第37回別海町パイロットマラソン大会第2回実行委員会が開催され、開会式や当日の運営等について最終調整が行われております。今大会への参加申込者は、フルマラソンで1,437名、5kmで534名となっており、お手伝いいただくボランティアスタッフは585名にも及びます。町を挙げての大イベントとして、参加者に喜ばれる大会になればと願っております。

27日には、第20回遊ぼっとスポーツ in 別海が、町体育協会主催で開催されました。

翌28日には、野付中学校、翌29日には、上風連中学校への指導主事訪問（2回目）が行われ、教育長・古森参事も一緒に同行し研修会に参加しております。

翌30日には、別海中央小学校において生き抜く力アッププロジェクト事業で、新潟県に視察研修に参加した教員による「言語活動を活発化した児童の思考力・表現力を育む」ことをテーマに公開授業が行われました。教育長・古森参事が参加しております。

真籠教育長

同日午後３時３０分からは、平成２７年度第１回生涯教育研究所所員会議が開催され、辞令交付と各議案審議が行われております。

翌１０月１日ですが、教育長・教育部長が根室教育局を訪問し局長・次長と面談を行っております。内容は、別海高校間口増に係る高校の魅力づくりへの取り組みや別海中央小学校の学校力向上総合実践事業の継続、指導参事の配置継続依頼等であります。

以上雑駁ではありますが、報告とさせていただきます。

－【議 事】－

大塚委員長

ありがとうございました。それでは、日程第４、議事に入ります。

協議案第１号「平成２７年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について事務局から説明願います。

学務課主幹

協議案第１号「平成２７年度全国学力・学習状況調査『北海道版結果報告書』への市町村別結果の掲載について」説明します。

本件につきましては、平成２７年８月３日付けで北海道教育委員会教育長より、別添の資料にありますように、昨年度から当該実施要領に記載のとおり協議・回答を求められたものであります。説明は、割愛させていただきますので後ほどご覧ください。

なお、協議案の説明として、同じく別添として配付しています「追加資料」により行いたいと思いますので、追加資料の１ページをお開きください。

平成２７年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載についてです。

はじめに、結果の公表に関する同意理由ですが、平成２６年度の実施要領から、①保護者や地域住民に対して説明責任を果たすことが重要である、②都道府県教育委員会は市町村教育委員会の同意のうえ市町村名・学校名を明らかにした公表ができるとされました。本町における昨年度の対応は、過去に結果が公表されていないこと、また、序列化や過度な競争に繋がりがねないことから慎重な対応が必要であると判断し「同意しない」としたところであります。

本年度は、昨年度、危惧されていた序列化等の問題事案がなかったことや、他の市町村と情報を共有することで、本町の教育向上に結びつくものと判断し、下記のとおり同意することとするものです。

記

１ 北海道版結果報告書への市町村別結果の掲載方法について

(１) 市町村別基本フォーマットに基づき、成果が表れているデータ、及び本町の取り組みの特色あるデータを掲載することに同意することとする。

教科全体の状況をレーザーチャート方式で掲載するが、市町村別の平均

正答率に関するデータは、掲載しないこととする。

(2) 追加掲載する情報については、保護者や地域への説明責任を果たすことはもとより、別海型の教育「生き抜く力（別海町生き抜く力向上策定プロジェクト）」の推進にあたって、教師力・学力・生活力と体力の向上を目指しながら、組織的・継続的な取り組みと具現化された実践を行うため、互いに情報共有することが肝要であることから、次の事項を選択する。

次に、追加掲載情報ですが、

① 児童生徒質問紙（15 項目 87 質問）に関すること

ア 朝食を毎日食べていますか 【基本的生活習慣・食生活】

イ 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか 【学習時間等・家庭学習】

ウ 自分には、よいところがあると思いますか 【自尊意識】

② 学校質問紙（18 項目 97 質問）に関すること

ア 調査対象学年の児童生徒に対し、学習規律の維持を徹底しましたか 【指導方法・学習規律】

イ 児童生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしましたか 【家庭学習】

ウ 学校全体の学力の傾向や課題について、全教職員の間で共有していますか 【教職員の取組】

2 別海町民への公表（広報「べつかい」および町ホームページへの掲載）について 【平成26年度と変更無し】

(1) 教育課程の編成及び授業改善、児童生徒の学習状況の改善等に役立てることをねらいとして、本町全体、各校、児童生徒一人一人の成果と課題をより具体的に把握するために、過度の序列や競争心をあおることのないように公表する。

(2) 教科に関する調査結果の公表は、「全道・全国より高い」との文言による公表のみとする。（数値的公表は行わない。）

(3) 町広報誌及びホームページでの公表は、質問紙等の調査結果を踏まえてと、考えていることから、11月を目途にしている。

3 学校での公表について

(1) 各学校の公表は、学校ごとの判断で公表しています。

(2) 公表の仕方は、「全道・全国より高い」等の文言による公表としています。

(3) 児童生徒の学習状況の改善に役立てることを目的に公表としています。

これらを踏まえまして、当教育委員会としまして、本協議案を提案するも

学務課主幹

のです。

では、協議案を朗読いたします。

協議案第1号「平成27年度全国学力・学習状況調査『北海道版結果報告書』への市町村別結果の掲載について」

平成27年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について、下記のとおり協議する。

平成27年10月2日提出

別海町教育委員会 教育長 真 籠 毅

記

平成27年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について

北海道教育委員会が作成する平成27年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」に当市町村の結果資料を掲載することについて同意する、とするものです。

なお、次ページには、当該協議結果の道教委に報告書を添付しておりますことを申し添えます。

以上で、協議案第1号の内容説明を終わりますので、協議方よろしく願います。

大塚委員長

ただいま、協議案第1号についての説明がございました。何かご質問ご意見等ありませんか。

まず、私の方から1つよろしいでしょうか。

ただいまの説明の中で、序列化の心配はないということでありましたが、昨年度の教育委員会議の中で、まず町内に公表することが先決であるということで北海道版には掲載せず、町内で公表するということで決定しました。

そして、その様子を見ながら、次年度については、また再検討するということで終わったと思いますが、保護者や同意した市町村などからの問い合わせや情報があったのか、お伺いしたいのですが。

学務課長

昨年度の結果について、学校及び保護者の方から、直接、教育委員会に対しての問い合わせはありませんでした。

併せて、公表した市町村などからの情報も、当教育委員会には届いていない状況です。

大塚委員長

はい。もう1つよろしいですか。

一律に公表すると言っても、地域によって、教育環境や教育条件に格差がある現状の中で、学力の結果だけを公表するのは如何なものでしょうか。

教育部長

委員長の言われたとおり、昨年公表に当たって、管内の教育長部会の中で、教職員の配置など整わない状況の中で、学力の結果だけを公表するとい

教育部長

う考えに応じ意見書を教育局の方へ提出している経過があります。

教育局の方からは、そのような状況も踏まえて、教職員の配置などに取り組んで行くという回答と、それらを踏まえて公表するよう依頼も去年はありました。

ただ、結果を見ると、今年度の人事では、解決されていない状況もありますので、そういう意味では町村の意向が伝わっていない現状があると受け止めていますが、それらについては機会あるごとに、教育長の方からも、教育局の方には、現状と町の意向は伝えているところでありますし、引き続き伝えていかなければならないと思います。

もう一方で、公表については、昨年度、道内で半数以上は公表しないという結果になっており、管内の状況では、当町だけが公表していない状況になりましたが、具体的にそのデータを使って新たに順位を付けるなどの情報がでませんでしたので、先ほど説明させていただいた内容であれば、我々が危惧している部分については問題がないとの判断の中で、今年は協議をさせていただいております。

大塚委員長

木村委員さんから何かありませんか。

木村委員

今のお話しのとおりだと思います。

人事配置がないとか、各校条件が一律でない中では比較にならないと思います。

教育環境などの整備の条件を付けて掲載するとか、要望を入れて提出して欲しいと思います。

大塚委員長

教育長から何かありますか。

真籠教育長

根室管内でも教育長部会を作っていて、代表者は、管内の意見を集約して、全道の教育長部会に要望を出しています。道教委や文科省にも提出しております。

根室管内については、若い教諭が来るケースが多いです。そして、ある程度の条件を満たすと、他管へ異動してしまうことがあります。管内の各市町を含めて、地域にもっと教諭が残るような魅力作りをしていくことも当然だと思いますし、道教委の方もそれに対応出来るような、仕組みを作るということをし添えております。

先ほど、お話しがありましたが、地域によって教育環境の格差があるようではだめだと思いますので強く要望していきたいと思いますが、この掲載に関しては切り離して考えようと思っていますので、公表は、先ほど事務方が説明したとおり情報の共有も必要ということ、それから、順位を決める目的ではないことなど、先ほど、木村委員がお話ししたとおり、意見を付して回答するというところもある程度必要だと思いますので、事務方の方で意見を付

真籠教育長	して、局あるいは道教委に理解してもらえるような形にして欲しいと思います。
教育部長	議案書の２ページに回答様式が付いていますが、その中に意見を記入する部分がありますので、本日伺った意見等を附帯意見として回答したいと考えます。
大塚委員長	それでは、他にご質問やご意見等はよろしいでしょうか。
	(「なし」の声あり)
大塚委員長	ご質問等がなければ採決いたします。協議案第１号について原案のとおり可決することにご異議ありませんか。
	(「異議なし」の声あり)
大塚委員長	異議が無いようですので、協議案第１号について原案のとおり決定することといたします。
	なお、最後に確認しましたが、要望事項などを付記し回答していただくということで、よろしくお願いいたします。
	－【その他】－
大塚委員長	それでは、日程第５、その他に入ります。
	その他で何かございますか。
	(「なし」の声あり)
大塚委員長	以上で本日予定していました案件については全て終了いたしました。
	これをもちまして第１０回の教育委員会義を閉会いたします。皆さんどうもご苦勞様でした。

－【閉 会】－